ほんのいっぷく

発行元
網代園
八王子市
横山町10-14
042(643)0333
日本茶インストラクター
茶育指導士
網代邦子

7月の店休日
13，20，27日
(毎週土曜日)
営業時間
9:30～19:00
(日，祝
9:30～18:00)

Facebook
Instagram

ちゃりん祭

7月6日 7日 ちゃりん祭（まつり）がいよいよ目前に迫りました。生涯学習センター図書館の皆さんは、6日(土)11時5、大蔵にて16ミリ映写会を開催してくださいます。

・くまのぷーさん
・七夕さま
　おりひめとひこぼし
・ディズニー短編集

このほか、おはなし会やボードゲーム大会も。子どもにかえった気分で大人が楽しむのもよいですね。

例年通り、niwaの木々には、七夕の願い事を飾り付けください。短冊は、カフスのメンバーが、**星の神様**として有名な茨城県日立市の**大甕（おおみか）神社**に奉納してくださいます。

おひさま保育園

ときどき、敷地内をお散歩コースに使ってくださる、おひさま保育園のみなさん。メダカたちに歓声をあげたり、植物に触れて楽しそうにしていたりと、こちらが癒されています。そのみなさんが、かわいい手形を押した作品を届けてくださいました。ちゃりん祭の期間中、niwaの植栽に飾りつけておきますので、ぜひご覧くださいませ。

下駄の日

7月22日は下駄の日。下駄の寸法に『七寸七分』など、数字の『七』がよく使われること、雪道を下駄で歩くと漢字の『二』のような跡が2つ残ることから、この日に決められたそうです。

弥生時代は『田下駄』と呼ばれ、農作業の際、足が滑るのを防ぐために使われました。江戸時代以降はおしゃれなデザインが増え、草履(ぞうり)や草鞋(わらじ)と並んで重宝されたとか。

ちゃりん祭開催中、浴衣を着て坂本呉服店さんへ行くと、プチギフトがもらえるかも。ステキな浴衣と下駄でのご来店をお待ちしております。

編集後記

今月号はちゃりん祭特集になってしまいました。7日には、お色直ししたユーロード側のベンチのお披露目もいたします。末筆ながら、向暑の折、くれぐれもご自愛くださいませ。

たなばたのお願い

天の川を隔てて暮らす彦星と織姫が、一年に一度再会できるというたなばた。牛飼いである彦星と、機織りを生業にした織姫は、お互いに夢中になりすぎて、怒った天帝によって、天の川の両岸に引き離されてしまいましたが、年に一度の逢瀬だけは許されたという話は、ロマンティックですね。

たなばたのお願いは、織姫にあやかって裁縫や手芸の上達を願うのが本来のかたちらしいのですが、小さい子の「○○になりたい」という願い事が、微笑ましくて大好きです。

さあ、今年は何をお願いしましょうか。